



国立女性教育会館のご紹介



～ ジェンダー平等に取り組む機関の紹介 Part3～

ジェンダー平等や男女共同参画の推進に取り組んでいるのは、パレア松本だけではありません。世界中、そして日本中に様々な機関があります。今回は、「国立女性教育会館（通称、NWECC：又エック）」をご紹介します。とっても魅力的な施設なんですよ！

NWECCって何？どこにあるの？

NWECCは、女性教育の振興や男女共同参画社会の形成を促進することを目的とした日本唯一のナショナルセンターです。昭和52（1977）年に設立されました。

埼玉県嵐山町にあり、東京ドーム約2つ分の広大な面積を有しています。宿泊棟や研修棟、お茶室やテニスコートなどもあり、男女問わず誰でも利用できます！しかも利用料がリーズナブル！

どんなことをしているの？

全国の男女共同参画を推進する人たちへの研修を実施したり、男女共同参画に関する情報収集・提供を行ったり、調査・研究を行ったりしています。

年間で約489万人が利用していて、NWECCの研修には全国各地から多くの人に参加しています。データベースには男女共同参画に関する膨大な資料があり、調べたい時にはうってつけですよ。

もっと詳しく知るには？

ホームページをチェックしたり、NWECCで行われる様々なイベントや研修に参加してみてもいいのではないでしょうか？

ちょうど、**11月15日(水)～12月21日(木)まで「男女共同参画推進フォーラム」**がオンラインにて開催されます。基調講演や女性活躍推進セミナー等、様々なテーマで発表があります。

無料で視聴できますので、是非この機会にNWECCをのぞいてみてください。



3回にわたって、ジェンダー平等に取り組む機関を見てきました。
皆さんも身近なところにある同じような機関・施設を見つけてみてね！



今月知っておきたい言葉

女性センターの風景より



交流フロアとキッズコーナーのレイアウトを少し変更しました♪



皆様のご利用お待ちしております！

女性の健康

ナショナルセンター(仮称)

政府が、令和6年度中に「女性の健康」に特化した国立高度専門医療研究センターを開設すると発表した。

月経前症候群(PMS)や更年期障害、摂食障害等、女性に多い健康上の問題に関する相談の受付や研究・治療を推進する司令塔となることが期待されている。



新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあります。どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。



『他人にも自分にもやさしくなりたいあなたへ』

(長沼 睦雄著、青春文庫、2022年)

発達段階で抱えるトラウマ(発達性トラウマ)とどのように向き合い、克服していくかを専門家の視点でやさしく解説した1冊。自分を「認め、受け入れ、手放す」という自分自身との交流の大切さを説いています。

『男女平等への長い列』 (赤松 良子著、日本経済新聞出版、2022年)

男女雇用機会均等法制定の立役者となった元官僚の赤松良子さんの自伝。文中の様々なところに「女性初」という単語が見られるように、女性官僚のパイオニアとして現在の日本の男女共同参画の礎を築いてこられたご苦労に頭が下がる思いがします。



このニュースレターは、松本市公式ホームページでも見ることができます。

Facebook、X(旧 Twitter)もやっています！



<編集・発行>

松本市 人権共生課(松本市女性センター)

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153

✉ kyousei@city.matsumoto.lg.jp